

文化祭・部活動・豊かな学び



終わった瞬間に、仲間とともにあると感じた。

ある、文化祭演劇クラス3年生の実感です。

私たちがかけがえのない「なかま」の存在を肌で感じるのは、

同じ事に取り組んで「ともに今を生きている」と感じる時なのでしょう。

ことばも大事。けれど、言葉以前の^{おこない}行為のなかにその人が見えてくる。

ことばにしなくても伝わる何ものかを、

私たちは行為のなかで感じ取りながら、ともに今を生きているのでしょう。

学校長 井戸 裕久

同朋オープン・フォーラム2014開催についてのお知らせ

今年も生徒・父母・教員の三者で「学校づくり」について話し合うオープン・フォーラムが実施されます。詳しい内容については、実行委員会で検討して「フォーラム2014のご案内チラシ」としてお届けします。今年度はフォーラムを冬の地域懇談会と位置づけて、地域懇談会との結びつき強めるフォーラムを目指します。気軽にご参加いただける企画をご用意しますので、多くの方のご参加をお待ちしております。実施概要は右記の通りです。



(担当/瀧)

日時：2014年12月6日(土) 14:00~17:00

開催場所：同朋高校多目的ホール他

スケジュール：①全体会 14:00~15:00

②分科会 15:00~16:30

グループに分かれ次のようなテーマで話し合います。

- ・子どもが安心し、笑顔で通学できる安全な学校づくり
- ・子どもが「大人として」成長していく学校づくり
- ・卒業生・卒業生の保護者の体験談に生き方を学ぶ
- ・「学び」の楽しさ、本当の「学び」とは何かを考える

③まとめの会 16:30~17:00

- ・各分科会の様子の交流
- ・地域別交流会

Schedule

〈行事予定〉

11月	
9日	珠算電卓検定、秘書検定
12日	①生徒会立会演説会
14日	3年音楽科公開実技試験
15日	第2回学校説明会
16日	音楽科体験入学
23日	ビジネス文書実務検定
27日	見真の日、⑥報恩講(1年)
28日	学園研鑽日
30日	第3回学校説明会

12月	
1月	午前授業、1普2普期末考査
2日	期末考査(～5日まで)
6日	同朋オープンフォーラム、PTA常任委員会
15日	修学旅行1団出発(18日まで)
16日	修学旅行2団出発(19日まで)
17日	修学旅行3団出発(20日まで)、1年キャリアセミナー
22日	終業式

1月	
7日	始業式
9日	卒業演奏会
18日	センター試験、情報処理検定
22日	卒業試験(28日まで)、2普「卒業体験」⑤⑥
23日	第3回英検
24日	1・2年進路父母ガイダンス、PTA常任委員会
25日	簿記検定
29日	推薦入試

2014年度・秋の「助成金拡充請願」活動について



今年度も『オータムフェスティバル(地域別県民文化大祭典)』を県下38会場で開催しております。それぞれの会場で、県議会議員さん、名古屋市議員さんにもご登壇いただき、愛知県や名古屋市を中心とした「助成金拡充請願」についてもご理解をいただいております。

本校では責任会場となっている11会場を中心に、生徒、卒業生父母、在校生の保護者、教員で他私学の方・市民の方とともに準備・運営を進めてまいりました。同朋学園助成金推進協議会としても、今後開催される11月22日(土)の同朋会場(中村区・中川区)を一つの大きな結節点としながら、さらに大勢の方の理解を得たいと考えております。

12月の愛知県議会で審議される『請願署名』採択に向けての審議、ひいては2015年度以降の私学教育を左右する大切なフェスティバルが**本日(11/14)**以降21会場あります。「私立高校無償化」「教育の公平」の実現のため、さらなるご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、オータムフェスティバル運営協力券の普及、これまでの集会への参加・運営・準備など、多くのお力添えをいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。(同朋学園助成金推進協議会事務局/寺町)

文化祭2014「同朋万博」



実行委員生徒感想 「自分たちで」取り組むと「いいこと」

104 近藤 晏未 (伊勢山中学校出身)

私は文化祭本部企画を担当しました。実行委員メンバーでどんな企画にしようかと相談し、来年度修学旅行で行く沖縄について1年生みんなで勉強する機会にしたいということになりました。グループに分かれて、方言・音楽・沖縄戦について調べ、発表することにしました。当日、ゲストとして「がちゅん」さんにも来てもらえるよう準備を進めました。

当日は、みんなの前で発表することによく緊張してしまっ、たくさん囁んだり、うつむいてしまったりしました。もつと落ち着いてやりたかったなと少し心残りです。でも、人前で、しかもあんなに多くの人の前で何かをやるのが今までなかったので、いい経験ができてよかったなと思いました。



今年度の文化祭3日目において、1年生のみを対象とした本部企画が実施されました。実行委員も全員が1年生であり、同朋高校の文化祭を初めて経験する彼らにとっては、かなり戸惑いがあったようです。しかし、暗中模索だからこそ、お互いに協力し合う必要性に気づくことができたようでした。

テーマは「全員を舞い込むような企画」。自分たちだけの楽しみではなく、他者を意識しながら企画を作り出そうと考える時間を持ったことは、本部企画実行委員の生徒たちにとって、大きな実りとなったはずです。

(本部企画担当/犀川)

文化祭 受賞クラス一覧

アカデミー賞 (学年・部門別最優秀賞)

3年生	演劇部門	310	ライオンキング
	パフォーマンス部門	309	World Dance Summit ~This is 309~
2年生	同朋ミュージアム~知る伝える~	208	米ダ!
1年生	創造~つくる!~	106	SPACE COASTER

ベストクラス賞 (来場者による投票)

2年生	同朋ミュージアム~知る伝える~	205	Wedding ~恋っていうから愛にきたっ!~
1年生	創造~つくる!~	107	沖縄エイサー物語
		110	ホグワーツ食堂~USJに行く前に110へ行こう~

2014年度文化祭を振り返って

2014年度の文化祭は、「同朋万博」というテーマのもと、学年ごとの企画に取り組みました。1年生では「創造~つくる!~」という部門の中で、ジレットコースターを作ったり、エイサーのステージを作ったりと、教室に来た人を楽しませる企画を組み立てました。2年生では「同朋ミュージアム~知る伝える」という部門の中で、様々な企業に協力を仰ぎ、商品開発や体験教室、試食コーナーといった企画が参加者の驚きと発見を誘っていました。また、3年生では「演劇、パフォーマンス」の中からクラス企画を決定していきました。文化祭直前に完成度がぐっと高まっていく様子を見ていくなかで、改めて高校生の持つ力を実感させられました。当日は体育館ステージや野外ステージで、熱のこもった演技を観る者に感動を与えるハイレベルな作品として仕上がっていました。

今年度は文化祭公開を再開するとともに、実行委員会本部企画のシンポジウムを1年生の3日目の企画としてリメイクするなど、大きな変革がありました。実行委員生徒の頑張っている姿や、当日の生徒達の笑顔からは、今年度の文化祭が充実したものであったことを感じることができました。

同朋の文化祭は「文化の祭り」です。出来合いの模擬店運営や芸能人を呼んだお客様感覚の企画ではなく、生徒が主体的に創るなかで得られる喜びや感動に主眼を置いたものとなっています。今年度の経験を来年にむけて蓄積し、さらに意義深いものを創っていくよう、生徒、保護者、教員で共に歩んでいきたいと思います。

(文化祭統括担当/小堀)

部活動

Club & Award News



柔道部

- 平成26年度少年女子国民体育大会柔道競技愛知県二次予選会

52kg級	第2位	桑原 菜奈 (109)
	第3位	大野 琴美 (204)
70kg級	第3位	菅 真琴 (308)
無差別級	優勝	山本 さくら (209)
- 第61回東海高等学校総合体育大会

男子66kg級	第3位	永谷 勇気 (310)
---------	-----	-------------
- 平成26年度愛知県私立学祭体育大会柔道の部

女子個人無差別級	優勝	山本 さくら (209)
	第3位	橋口 史佳 (310)
	第3位	大野 琴美 (204)
- 第37回尾張・名古屋・知多新人体重別大会

女子63kg級	第2位	山本 さくら (209)
女子57kg級	第2位	小山 華奈 (203)
	第3位	金田 美香 (206)
女子48kg級	第2位	大野 琴美 (204)
	第3位	桑原 菜奈 (109)
	第3位	永野 友海 (110)

放送部

- 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会

ラジオドキュメント部門	優良賞	「見直そう、学校のトイレ!」	全国大会出場
テレビドキュメント部門	入選	「中国戦線—2つの戦場—」	
創作ラジオドラマ部門	努力賞	「オーダーメイド」	

ラグビー部

- 第56回市民スポーツ祭高校の部ラグビー競技

第2位

乗馬部

- 第39回前田記念馬術競技大会

LL級障害50	第2位	高力 大虎 (101)	ノリタケ号
LL級障害40	第3位	早川 令実 (101)	ノリタケ号



放送部は、NHK主催全国高校放送コンテストに、2年連続7回目の全国大会に出場しました。この間、NHK杯県大会には、ラジオドキュメント、テレビドキュメント、ラジオドラマ、テレビドラマの4部門に出品し、アナウンス、朗読の2部門に6人がチャレンジャーしてきました。(県予選6/15、県決勝6/22)

今年の県大会では、ラジオドラマ部門で、オリジナル台本で臨んだ「オーダーメイド」が、努力賞を頂き、テレビドキュメント部門で、日中戦争の住民被害に注目した「日中戦争—2つの戦場—」が入選しました。そして、ラジオドキュメント部門「見直そう、学校のトイレ!」が、全国大会に選ばれました(県優秀賞)。「見直そう、学校のトイレ!」は、学校のトイレに注目した作品です。この作品を制作することになったのは、2004年、そして2012年と行われた校舎改装工事の際のトイレ改修に注目し、それを題材に2013年アナウンス部門に出場したことがきっかけでした。2004

年当時の女子高校生は、「家では洋式トイレ、学校では和式トイレがいい!」というのが一般的でした。そのため2004年D号館改装工事では、男女とも個室の半分は和式でした。しかし2012年

C号館改装では、「学校でも洋式がいい」と意識が変わっていたので、個室はすべて洋式となりました。さらに、トイレについて色々調べていくと、最近では家庭や公共施設で洋式がどんどん普及していることが分かりました。

また、最新型「自動洗浄洋式トイレ」で育ったたちがトイレで水を流し忘れるという問題もすでに発生していました。いずれ、和式だと使えない!という子どもたちも現れるのではという懸念もみえてきました…。



放送部

トイレの研究で、NHK杯高校放送コンテスト全国大会へ!

305 石橋 明可梨 (豊田中学校出身)

柔道部

夢はかなう! 「継続は力なり」恩師の言葉を胸に

310 永谷 勇気 (東港中学校出身)



中学生最後の大会で東海大会準優勝、全国大会出場を目指していた私は夢を叶えることができず、悔しい思いをしました。「高校でこそ必ず!」もう一度全国大会出場を目指し、それを実現するために同朋高校に入学しました。

入学後は毎日厳しい稽古の連続でした。平日は始発電車に乗って登校し、体力づくりの走り込みや筋力をつけるトレーニングに取り組みました。授業後は、立ち技・寝技を中心とした稽古を行います。土日祝日も休むことなく稽古を続けます。こうした日々の厳しい稽古を積み重ねることによって、少しずつ体力や技術、精神力が向上していきました。また、その蓄積と全国にいきたいという強い気持ちが、イン

ターハイ出場という結果に結びついたのだと思います。

インターハイという夢の舞台に立つと目に映るものが新鮮で、多くの刺激を受けました。私が3年間ここまで頑張ることができたのは、多くの方々に支えていただいたお蔭です。毎日まいにち指導くださった顧問の藤山先生、中田先生、一緒に厳しい稽古を乗り越えた柔道部の仲間たち、私を生活面でサポートしてくれた家族、更には、笑顔で元氣よく私にたくさんパワーをくれたクラスの友達…本当に感謝の気持ちでいっぱいです。もし、同朋高校に進学していなければ、こうした人々と出会えず、全国大会出場という夢も叶えられなかったかもしれません。

顧問でもあり、3年のクラス担任でもある藤山先生から「継続は力なり」という言葉をいただきました。その言葉を大切にしながら、大学進学後も柔道を通じて、全国大会出場を目指します。それが私を支えくたさった皆さんへの恩返しです。同朋高校で学校生活を過ごしたことを心から誇りに思います。

女子サッカー部

感謝の気持ちを忘れない 国体選手に選ばれるまでの道のり

209 玉木 陽菜 (宝神中学校出身)



私は小学校3年生からサッカーを習い始めました。中学で挫折してもう辞めようと思っていた時、両親に同朋高校を薦められ、女子サッカー部のクラブ体験に参加しました。先輩方や先生がとても優しく、サッカーが楽しいという気持ちがまた私の心に戻ってきました。そして「ここから続けられる、サッカーを続けよう」と思いました。

入学する前は何も目標がなく、ただ自分が試合に出て目立れば良いか思っています。しかし同朋高校に入学し、女子サッカー部に所属して、その考えも変わりました。私の高校生活はサッカー一色になりました。朝早くから、授業後は遅くまで練習する毎日になりました。学校にも部活にも慣れ

てきた頃、自分の目標が見つかりました。それは「選手権で1位になること」です。そして1年生の時にベスト4という成績を出しました。目標に向かって頑張るのは、すごく気持ちいいことだと知りまし

2年生になり、顧問から国体の選考会に出るように勧められ、挑戦してみることに

にしました。多くの人と出会い、良きライバルとして友達ができました。その友達と自分が選ばれるために勝負しないといけない。でも自分が体験したことのないレベルでサッカーができるなんてすばらしいことだと思いました。私は三次選考まで進み、国体の選手として選ばれました。高校生は2名でした。

ここまで私がやってこれたのは、ずっと支えてくれた両親、部活のチームメイト、いろいろな人々のお蔭だと思います。本当に心から感謝しています。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思っています。

職業教育技術顕彰が授与されました

愛知県職業教育技術顕彰受賞者

久世 健一(当知)	松山 莉奈(青海)	大村 舞(菟寺南)
比嘉 竜生(豊正)	水谷 百伽(豊正)	楠本 遥(八幡)
石井あいか(豊国)	宮村 優那(大治)	後藤 瑞姫(港南)
加藤 未来(供米田)	三輪 志帆(常滑)	小林 茉央(菟寺南)
楠本 沙希(矢作北)	山田 奈々(葉栗)	佐藤 優(笠瀬)
桑原 和歩(豊国)	横井 恭子(一柳)	祖父江里菜(長良)
小山 優奈(大治)	下里 光平(蟹江)	高木 裕花(助光)
鹿倉 芽依(宝神)	深津 尚吾(助光)	高下 結衣(今伊勢)
重永 晴花(七宝)	間瀬 結人(亀崎)	橋口 史佳(平洲)
千田紗矢香(豊国)	溝口 蓮(豊国)	橋本 安里(豊国)
辻 悠(高杉)	浅居 里奈(知多)	増子 成美(東陵)
坪井 晴香(御田)	飯田 有咲(藤波)	松島 里奈(訓原)
富田クリス(御田)	伊藤 留奈(菟寺南)	武藤 奈緒(一柳)
成田侑里子(福沢)	入山千江美(七宝)	毛利 雛子(笠瀬)
坂 早耶香(はとり)	上山 慧真(成徳)	諸岡 唯(七宝)
二村 優伽(一柳)	梅村 茉弥(大森)	山本 実果(長良)
松井 葵(大府)	大倉明日香(千代田)	吉田 朱里(菟寺南)



愛知県には職業資格の取得を通し、「技術・技能の習熟」「目的意識を持って充実した学校生活を送る」「将来にわたり豊かな職業生活を営む」以上を目的とした顕彰制度があります。

日ごろの学びの成果が実り、今年度は商業科3年生から51名の生徒に愛知県知事から職業教育技術顕彰が授与されました。

顕彰が授与されたことを誇りに思い、これからの学びにも真摯に取り組んでみたいものです。(商業科主任/平野)



豊かな学び

オーストラリア・ホームステイプログラム

8月2日(土)から18日(月)の17日間、1年生2名、2年生14名、3年生5名の計21名と引率教員2名で、姉妹校であるオーストラリア・サンシャインコーストにあるUnity Collegeにて語学研修プログラムを実施しました。

現地では語学研修のみならず、Unity Collegeの生徒宅にホームステイをさせていただきました。最初は慣れない異国の地での生活習慣

や、思うように通じない英語に不安な表情でいっぱいな生徒たちでした。しかしながら自然豊かな環境やホストファミリーの温かさで、生徒たちの表情に少しずつ笑顔が増え、貴重な2週間となりました。

今回の経験が参加した生徒のみでなく、同朋高校全体の更なる国際交流のきっかけになればと思います。(国際交流委員会担当/林)



かけがえのない思い出

302 水本 千尋 (植田中学校出身)



私はこの2週間で何物にも代え難い貴重な経験をさせてもらいました。

ホームステイプログラムに行きたいという話は自分から親に切り出しました。両親や祖父母は大賛成でした。オーストラリアへ旅立つ日が近づくにつれ周りの人にホームステイの話をするのも増えましたがその度に、「受験生なのに?夏休みなのに?勉強しなくて大丈夫なの?」という言葉がかけられ、楽しみだったホームステイがだんだんと不安や後悔に変わり、終いにはオーストラリアに行くことが嫌で嫌で仕方ない状態にまでなっていました。私はホームステイに参加するべきではなかったんだと思い、結局不安しかないままに帰国してしまいました。



海外から来た見ず知らずの高校生を自分達の本当の家族のように迎えるなんて、普通に考えればとても大変なことです。嫌な顔ひとつせず、私が理解できるまで粘り強く話してくれたり、日本語を調べたり覚えたりしてくれたことが本当に有り難かつたし優しさに胸を打たれました。



オーストラリアでは英語だけでなく異文化の中で生活することの大変さや毎日が新鮮だということの楽しさであふれる2週間でした。大学では絶対に英語を勉強しようと思ったこともでき、この経験は何一つ自分に無駄にはならなかったし、自分の一生の財産になりました。



2年進学合宿

休暇村茶臼山高原

考え方も成長させてくれた進学合宿

202 宇納 千紘 (日比津中学校出身)

7月28日(月)から7月31日(木)、3泊4日の日程で「2年進学合宿」を行いました。昨年度まで約30年間お世話になった長野県白馬村の民宿から茶臼山高原に場所を移し、37名の希望者が参加し、新たなスタートを切るようになりました。

休暇村茶臼山高原は、標高1200mで愛知最高峰の茶臼山に広がる高原リゾート地に位置します。名古屋市と比べ平均5℃〜7℃ほど涼しく、施設にクーラーが設置されていないほどです。気持ちの良い風を感じながら学習に取り組みました。

今年度は、文系・理系・看護系の3つのコース、英語は習熟度別にA・Bクラスに分け、きめ細かい指導体制を取りました。各教科とも、模擬試験や大学受験に向けた実践的な講義を8人の教員で行い、生徒たちは初めての受験問題に挑戦苦闘しながらも真剣な眼差しで学習に取り組みました。また全員対象で「進路希望別小論文講座」を行いました。生徒たちは、休憩時間中や就寝時間も惜しんで参考書を読んだり、英語や英熟語の勉強する姿がとても印象的でした。

率直に言うとも疲れました。でも、疲れたことよりも強く思ったことがあります。それは、価値のある4日間を過ごせたということです。理由は2つあります。

1つ目は「人として学ぶ面」があったということです。先生の大学受験の体験談では、私の考えにはない話ばかりで「大人の意見」の大切さを改めて知りました。これは、日常生活でもいえることだと思います。周りの人の意見を素直に聞くことは、いろいろな考えを知ることで、自分の視野や価値観を広げることにつながると思います。

2つ目は「勉強面」での変化があったということです。今までは、わからない問題があると解くことさえしないこともありましたが、解かずに間違えるなら解いて間違える方が自分を進歩させてくれるのだと4日間身をもって感じました。勉強への考え方を変えることができました。

また、早朝からのラジオ体操・自然観察会・学習を終えた夜間には、高原で鹿を見るナイトハイキングや花火・天体観望などを行い充実した4日間を過ごしました。

今回の「進学合宿」を経験した生徒たちがこの集団となり、学年全体をリードして来る3年生の春に向け、それぞれの志望する進路に羽ばたいていくことを期待しています。(2年学年主任/佐野)



ようこそ同朋ファミリーへ♡♪ありのままの自分で飛び込もう♪ ～webよりリアルで話しましょう～

2014年度地域懇談会を終えて

今年で38回目を迎えた地域懇談会。学年・クラス・科の枠を越えて地区別に集まり、お互い本音で語り合う家庭的な懇談会で、他の高校にはない同朋高校独自のすばらしい行事です。この会は、先生・卒業生・卒業生の保護者などから子育てのヒントをもらえたり、私たち保護者が我が子の高校生活で不安に感じていること・困っていること・悩んでいることなどをざっくばらんに話すことができましたりする場になっています。

今年も多くの保護者の皆さまにご参加いただきました。各地域の企画も様々でした。卒業生やその親御さんによる体験談、先生やスクールカウンセラー・現役生徒による講演、体育大会や卒業式・日常生活のDVDやスライドの上映、意見交流などがあり、学校の様子がよくわかって好評でした。懇談会後、地域によっては

食事を取りながらの二次会もあり、より懇親を深めた地域も多かったようです。

今年参加できなかった方も、来年は是非参加いただけると同朋高校がもっと身近になると思います。地域懇談会でお出されたご意見などは、12月6日に行われる「同朋オープンフォーラム」に反映されます。こちららぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

(PTA地域懇地区委員長/木村 幸美)



8月24日 PTAバスツアー 今年では京都嵐山で研修しました!



8月24日、バス2台80名の参加者に乗せ、京都へPTAバスツアーに出かけました。昼食は、もみぢ家の川床料理。2時間の昼食時間があつという間に感じるほど、和気藹々(あいあい)とPTA会員同士懇親を深めました。川の景色を眺めながらのお食事は、風流があり、美味しかったです。

その後、春夏秋冬、色彩を変えて人々を魅了する景勝地の嵯峨野・嵐山の自由散策をしました。嵐山のシンボル、渡月橋を中心に、上流の大堰川、下流の桂川は、生憎の雨で増水していました。「嵐山」駅の周辺にはお店も多く、京都ならではの抹茶のお菓子をいただいたり、和傘やお香など京都ならではの土産を買ったりゆっくり過ごしました。

文化委員の皆さんが、バス内レクリエーションとして同朋クイズやビンゴゲームを準備して下さり、大変楽しいバスツアーとなりました。

(PTA担当/日比)

今年も文化祭2日目にPTA四委員会による父母バザーが実施されました。昨年非公開であったので、食数を抑えての販売となり、四委員会全体の収益も予想通りの減収となりました。今年も2年ぶりの一般公開となり、各委員会とも昨年の分を取り戻そうという意気込みでバザーの準備を進め、当日を迎えました。好天にも恵まれ、昨年よりも来場者は多かったのですが、各委員会とも思ったほどの収益は上がりませんでした。文化祭の打ち上げ会の席上、それぞれの委員長からバザーの様子が報告されましたが、事業委員会からは「焼きそばの材料のキャベツや豚肉が、昨年に比べてかなり高かったため、利益率が下がった。」との報告があり、地域懇委員会からも「朝から一生懸命から揚げを揚げたが、材料の単価が高くて、思ったほどの売り上げがなかった。」と同様のコメントがありました。喫茶店担当の文化委員会からは「気温も上がり、冷たい飲み物やタバコは好調な売れ行きだったが、売り上げの大幅アップとはならなかった。」との報告があり、飲食物は原材料の高騰に加え、学食、生徒のバザーとの競合もあり、利益が予想ほど伸びなかったようです。

2014年度文化祭バザーについて

一般公開の中、好天にも恵まれ、PTA父母バザー開催される

品バザーに取り組んだ生活指導委員会からは「昨年より品数が集まらなかったため、売り上げが伸びなかった。来年はもっと多くの物品を集めて収益を上げたい。」という報告がありました。昨年をやり下回ったものの四委員会合計で15万5,000円ほどの収益がありました。この収益につきましては、例年、学校生活に必要な備品購入等に使用させていただきますので、使途が決まりました。保護者の皆様にもお知らせいたします。

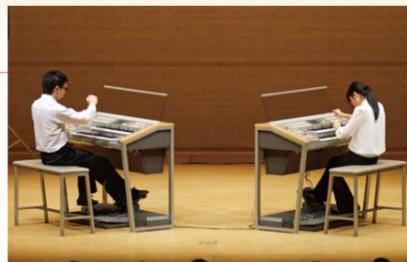
PTAの役員、常任委員の皆様にはバザーの準備から当日の運営、後片付けまでご協力いただき、本当にありがとうございます。また、売り上げにご協力いただいた皆様にも感謝いたします。

(PTA担当/瀧)



アンサンブル演奏会 初めてで最後のアンサンブル演奏会

311 石原 光紅子 (長浜市立湖北中学校出身)



私は電子オルガンで木村君とアンサンブルをしました。曲はレスピーギの「ローマの祭り」主顕祭です。この曲は文字通り、祭りを表現しているのですが、一小節がとても速く、にぎやかな曲調もあれば、曲調もあり、しかも拍子がころころ変わって、弾いていても面白い曲です。私たちが合わせ練習を始めたのはお盆が終わってからです。他の楽器の人数



が夏休みが始まる前から合わせ練習をしていたのに、私たちがはかたも遅れをとっていました。変拍子でも難曲だということに、本当に本番に間に合うのだろうかとすごく不安になりました。初めて合わせ練習をした時は、二人ともバラバラで、お互いどこを弾いているのか全然分からなくなり、さらに不安が増し落ち込みました。どうしてもしょと早く練習



習しなかったのかととても後悔しました。でも落ち込んでいた余裕はありません。二学期が始まり、毎日放課後、遅くまで残って一生懸命練習しました。すると、あれほどバラバラであった一人の息がいつの間にかぴたり合ってきて、演奏していきなりました。

今回の合唱合奏演奏会は、前回よりも練習から本番までと大変でした。前回の合唱も、歌の歌詞は日本語ではなく英語とイタリ語でしたが、今回はテンポが速かったり、曲が増えたりに振り付けもついたり、覚えるまでに時間がかかりました。文化祭の直前まで歌詞を覚えられず、演奏会本番の数日前にやっと歌に表現をつけることができました。有名で知っている人が多い曲だったので、もし聴いてくれる人の中で「この表現は違うだろう」とか「こんな感じじゃないだろう」などと思われたらどうしようかと、すごく緊張しました。でも、今まで練習してきたことを本番では一杯出し切ることができたので、満足しています。

合唱・オーケストラ演奏会 舞台上に立つということ

211 一木 三花子 (江南市立西部中学校出身)



ことは本当に悔しいです。私には体力が足りないなと思いました。3年生の先輩と一緒にやる演奏会は、この定期演奏会が最後でした。先頭に立って指示してくださった先輩たちは頼りがいがあったとても優しかったです。先輩たちのお蔭で今回の合唱が成功したと言ってもいいくらい、頑張りが引いていただきました。来年は私たちが3年生になって、下の学年の子たちを引っ張っていかなくてはなりません。今の3年生のような先輩になれるかどうか自信はありませんが、もっと自分を磨いて良き先輩になれるかなと思います。



第46回 同朋高校音楽科 卒業演奏会

平成27年1月9日(金)
会場：名古屋・伏見 電気文化会館
ザ・コンサートホール
開場：18時00分
開演：18時30分

入場
無料